

消費税増税に対する不安感が広がる

8月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

10月に迫った消費税増税に対する不安感が広がっている様子が見え始める。平成26年の増税(5%→8%)ほど駆け込み需要も発生しておらず、今後への期待感も薄い状況。また、コンクリートブロック・自動車部品・運輸業において、お盆休みが例年より長く稼働日数が減少したことに伴い、売上が減少している。

製造業	食料品		パンは、前半に猛暑日が多く厳しい月となったが、前年より休日が多かったため売上・収益ともに前年並みを維持。菓子は、暑さのため来客数減少。製麺は、お盆需要の減少により収益悪化。酒造は、普通酒の大幅な売上減に引きずられ売上・収益ともに減少。食肉は、と畜頭数や相場が前年と同程度となり業況に変化なし。
	繊維・同製品		桐生織物は、婦人服地、和装織物、輸出向けとも低調な推移となる。伊勢崎織物は、広巾織物は依然底堅いが、和装は厳しい経営環境が続いている。ニットは、秋物の出荷がピークを迎え設備稼働度が上昇し、在庫数量減少。繊維製品は、秋冬物の受注状況が前年の不振の影響で芳しくなく、売上・収益ともに悪化。
	窯業・土石製品		コンクリートブロックは、稼働日数減少に伴い売上減少、消費税増税前の駆け込み需要はみられない。生コンは、お盆休みの影響で前月比の出荷量が減少したが、前年比では若干増加。砂利は、出荷低調にて在庫数量増加。碎石は、八ッ場ダム周辺工事で好調な吾妻地域を除き、売上・収益ともに悪化している。
	機械・金属		鍍金は、米中貿易摩擦の影響で受注が減少しているほか、消費税増税の影響を懸念している。電気関連は、9月の決算に向け好調、新卒採用がままならず外国人材により人員補強をしている状況。半導体関連は、米中貿易摩擦の影響で中国での生産が減少。SUBARU関連は、徐々に部品生産が回復基調となっている。
	その他の製造業		木材は、製品単価が低下傾向にあるほか、荷動きが悪く業況が悪化している。紙加工品は、天候不順と米中貿易摩擦の影響で売上・収益ともに悪化、消費税増税前の駆け込み需要も期待できそうにない状況。印刷は、消費税増税を不安材料として捉え注視している。ゴム製品は、売上・収益ともに不変。
非製造業	卸売業		高崎卸団地は、嗜好品関連において消費税増税後の売上低迷を懸念している。前橋卸団地も、消費税増税の影響を不安視。太田卸団地は、若手人材の採用が難しいため高齢者を積極的に雇用し、雇用人員が増加している。農産物卸は、夏空が戻り概ね前年並み。水産物卸は、食中毒への警戒心から生魚が敬遠され売上減少。
	小売業		家電小売・中古車オークションは、消費税増税前の駆け込み需要がなく、期待感も薄い状況。燃料小売は、前年比で販売価格が値下がりし売上減少。生花小売は、仕入相場が安価で推移したため競争が激化し売上確保に苦慮。商店街は、全体的に人出が少なく売上減少、イベントの多い9月に期待している様子が見え始める。
	サービス業		温泉旅館は、全体的な好調が継続しているほか、お盆期間以外の宿泊客数が増加している傾向が見られる。渋川市域における不動産取引は、北部・東部では動きがみられず減速傾向にあるが、八木原駅近くに大型駐車場が整備された南部で活発化しており収益増加。自動車整備・建築設計は、売上・収益ともに前年並み。
	建設業		建設工事は、公共工事の減少や民間需要の停滞により収益悪化。解体工事は、夏休み中の学校・工場の改修・解体需要があり受注好調。電気工事は、小・中学校、高校での冷房設置工事が概ね完了。塗装工事は、前月に続き仕事量が少なく収益悪化。鉄構は、現状は仕事が少ない反面、来年度以降の見積案件が増加している。
	運輸業		全体的に、稼働日数が減少したことにより低調となり、売上が減少している様子が見え始める。野菜関係は、前月から一転して猛暑となったことで出荷量が増加したところが多く、車両の手配に苦慮している。小口配送は、お盆休み前に引越しや医薬品PET、物流会社からの依頼など、駆け込み的な依頼があり売上増加。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況(前年同月比)です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 105.8(前月比+7.6%)「県統計課・7月」
- 住宅着工戸数 932戸(前年同月比▲10.6%)「県建築住宅課・7月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.97倍・有効1.72倍「群馬労働局・7月」
- 大型小売店販売額 202億円(前年同月比▲4.0%)「経済産業省・7月」
- 消費者物価指数(全国) 101.6(前年同月比+0.5%)「総務省統計局・7月」
(鉱工業生産指数は27年=100とした指数・消費者物価指数は27年=100とした指数)